

平成22年度決算の状況

阿 見 町

目 次

1	平成22年度全会計決算の状況	1
2-1	平成22年度一般会計決算の概要	2～4
2-2	平成22年度一般会計決算の状況	5
2-3	一般会計決算の歳入の状況	6
2-4	一般会計決算の歳出の状況	7
2-5	一般会計決算の歳出（性質別）の状況	8
2-6	一般会計決算の歳出（性質別内訳明細）の状況	9～12
3	平成22年度国民健康保険特別会計決算の概要，歳入・歳出の状況	13
4	平成22年度公共下水道事業特別会計決算の概要，歳入・歳出の状況	14
5	平成22年度老人保健特別会計決算の概要，歳入・歳出の状況	15
6	平成22年度土地区画整理事業特別会計決算の概要，歳入・歳出の状況	16
7	平成22年度農業集落排水事業特別会計決算の概要，歳入・歳出の状況	17
8	平成22年度介護保険特別会計決算の概要，歳入・歳出の状況	18
9	平成22年度後期高齢者医療特別会計決算の概要，歳入・歳出の状況	19
10	平成22年度水道事業会計決算の概要，収入・支出等の状況	20・21
11	町民の町税負担状況	22
12	町債（借入金）の現在高	22
13	基金の現在高	22

1. 平成22年度全会計決算の状況

【一般会計・特別会計】

(単位：千円)

	歳入決算額 A	歳出決算額 B	歳入歳出 差引額 C(A-B)	翌年度へ繰り 越すべき財源 D	実質収支額 E(C-D)
一般会計	15,308,104	14,134,747	1,173,357	213,915	959,442
特別会計	10,648,143	9,656,298	991,845	72,667	919,178
国民健康保険特別会計	5,149,315	4,565,524	583,791	0	583,791
公共下水道事業特別会計	1,825,537	1,744,906	80,631	32,316	48,315
老人保健特別会計	15,083	15,083	0	0	0
土地区画整理事業特別会計	660,616	376,421	284,195	21,703	262,492
農業集落排水事業特別会計	331,352	308,581	22,771	18,648	4,123
介護保険特別会計	2,063,565	2,043,804	19,761	0	19,761
後期高齢者医療特別会計	602,675	601,979	696	0	696
合計	25,956,247	23,791,045	2,165,202	286,582	1,878,620

※実質収支額… 歳入決算額から歳出決算額を単純に差し引いた額（形式収支）から、翌年度への繰り越し財源（繰越明許費繰越等に伴い翌年度へ繰り越すべき財源）を差し引いたもの。

【公営企業会計】

(単位：千円)

水道事業会計		収入決算額 A	支出決算額 B	収入支出 差引額 (A-B)
	収益的	978,079	859,315	118,764
資本的	59,920	403,743	△ 343,823	

※消費税・地方消費税を含んだ金額。

2-1 平成22年度一般会計決算の概要

平成22年度一般会計の決算額は、歳入総額153億810万4千円、歳出総額141億3千474万7千円となり、前年度と比較し、歳入については、5億7千125万4千円（3.9%）の増、歳出については、2億6千230万9千円（1.9%）の増となりました。

その結果、歳入歳出差引額は、11億7千335万7千円で、翌年度へ繰り越すべき財源として2億1千391万5千円を充てると、実質収支額は、9億5千944万2千円となり、前年度と比較し、2億3千947万6千円の増となりました。

はじめに歳入の増額の主なものについては、町税が決算額75億4千99万8千円で、1億6千396万3千円（2.2%）の増、地方交付税が決算額11億9千219万4千円で、3億6千512万4千円（44.1%）の増、国庫支出金が決算額18億2千84万円で、2億6千96万8千円（16.7%）の増、町債が決算額14億590万円で、1億7千390万円（14.1%）の増となりました。

減額の主なものについては、地方特例交付金が決算額7千928万7千円で、2千65万3千円（20.7%）の減、繰入金が決算額1千421万3千円で、3億2千348万9千円（95.8%）の減、諸収入が決算額4億2千612万8千円で、1億7千942万9千円（29.6%）の減となりました。

次に歳入の増減の主な内容については、まず町税では、町民税が大規模法人の業績回復等に伴う法人町民税3億3千742万5千円（52.6%）の増により、決算額33億8千59万4千円で、1億6千633万3千円（5.2%）の増となりました。また、固定資産税が地価下落の影響等に伴う土地固定資産税4千537万5千円（4.3%）の減などにより、決算額33億4千338万4千円で、2千87万3千円（0.6%）の減となりました。

地方交付税では、前年度及び前々年度の法人町民税の減収に伴う清算措置等による普通交付税3億5千259万8千円（49.7%）の増などにより増額となりました。

国庫支出金では、子ども手当国庫負担金6億1千32万1千円の皆増、社会資本整備総合交付金3億5千32万6千円の皆増などにより増額となりました。

繰入金では、減債基金繰入金1億4千438万3千円の皆減、公共公益施設整備基金繰入金1億1千300万円の皆減などにより減額となりました。

繰越金では、純繰越金の増等により1億2千92万円の増額となりました。

諸収入では、荒川本郷地区都市再生機構負担金6千500万円の皆減、阿見吉原地区道路整備負担金1億2千544万8千円（87.4%）の減などにより減額となりました。

町債では、社会資本整備総合交付金事業債2億590万円の皆増、臨時財政対策債4億8千900万円（80.8%）の増などにより増額となりました。

次に、歳出の目的別決算額について、まず、議会費では、議員報酬関係経費10万円（0.1%）の減などにより、議会費全体の決算額は、1億2千895万3千円で、12万7千円（0.1%）の減となりました。

総務費では、行政情報ネットワーク運営事業3千562万1千円（32.0%）の減、住民情報ネットワーク運営事業2千138万2千円（14.0%）の減、財産管理費8千548万8千円（5

3. 8%)の減、公用車維持管理費2千648万円(40.9%)の減、定額給付金給付事業費7億532万4千円の皆減、徴収事務費2千841万5千円(43.7%)の減などにより、総務費全体の決算額は、16億3千214万8千円で、8億7千276万3千円(34.8%)の減となりました。

民生費では、医療給付事業4千169万円(18.4%)の増、子ども手当支給事業7億5千693万3千円の皆増、民間保育所管理運営事業9千988万2千円(107.5%)の増などにより、民生費全体の決算額は、37億6千958万4千円で、4億9千688万6千円(15.2%)の増となりました。

衛生費では、予防接種事業488万1千円(8.2%)の増、霞クリーンセンター維持管理費5千634万9千円(35.2%)の増、浄化槽設置事業639万8千円(16.3%)の増などにより、衛生費全体の決算額は、10億9千220万6千円で6千794万9千円(6.6%)の増となりました。

農林水産業費では、農業振興推進事業892万3千円(154.4%)の増、水田農業構造改革対策事業1千177万6千円(49.8%)の減、農業基盤整備事業2千804万2千円(86.7%)の減などにより、農林水産業費全体の決算額は、2億237万4千円で、1千344万9千円(6.2%)の減となりました。

商工費では、商工振興事業381万9千円(8.2%)の減、阿見東部工業団地・阿見吉原東地区企業誘致事業1千986万1千円(34.7%)の増、あみコミュニケーションセンター運営事業760万9千円(54.4%)の減などにより、商工費全体の決算額は、1億8千124万9千円で、871万5千円(5.1%)の増となりました。

土木費では、都市計画道路荒川沖・寺子線整備事業2億552万3千円(236.9%)の増、公共下水道事業特別会計繰出金8千581万3千円(12.6%)の増、霞ヶ浦平和記念公園整備事業1億4千238万8千円の皆減、阿見吉原土地区画整理事業1億122万9千円(49.7%)の減などにより、土木費全体の決算額は、23億6千77万3千円で、6千62万4千円(2.6%)の増となりました。

消防費では、常備消防費職員給与関係経費983万4千円(1.9%)の増、常備消防事業586万3千円(30.0%)の増、消防水利整備事業241万円(84.4%)の減などにより、消防費全体の決算額は、6億728万7千円で、1千344万2千円(2.3%)の増となりました。

教育費では、小学校学校施設整備事業2億5千931万6千円(213.3%)の増、中学校学校施設整備事業1億5千457万6千円(245.3%)の増、本郷ふれあいセンター維持管理費1億358万1千円(1559.5%)の増、予科練平和記念館整備事業6億2千270万5千円の皆減などにより、教育費全体の決算額は、19億7千716万7千円で、7千132万6千円(3.5%)の減となりました。

災害復旧費では、災害復旧工事の皆増などにより、災害復旧費全体の決算額は、2千277万3千円の皆増となりました。

公債費では、元金償還費559万9千円(0.4%)の増、利子償還費1千966万4千円(10.0%)の減により、公債費全体の決算額は、15億8千593万1千円で、1千406万5千円(0.9%)の減となりました。

諸支出金では、財政調整基金費5億6千996万9千円の増などにより、諸支出金全体の決算額

は、5億7千430万2千円で、5億6千365万円（5291.5%）の増となりました。

次に、性質別決算額では、人件費、扶助費、公債費の義務的経費が61億9千669万9千円で、6億5千826万6千円（11.9%）の増となり、歳出総額の43.8%（前年度39.9%）を占め、その内訳については、人件費が一般職給料の増などにより2千221万1千円（0.8%）の増、扶助費が子ども手当の皆増などにより6億5千12万円（56.7%）の増、公債費が利子償還費の減などにより1千406万5千円（0.9%）の減となりました。

物件費については、行政情報ネットワーク運営事業3千562万1千円の減、総合窓口整備事業2千372万9千円の皆増、農業振興推進事業848万4千円の増、予科練平和記念館整備事業5千619万5千円の皆減などにより1千191万8千円（0.5%）の減となりました。

普通建設事業費については、都市計画道路荒川沖・寺子線整備事業2億498万1千円の増、小学校施設整備事業2億6千849万5千円の増、予科練平和記念館整備事業5億6千446万2千円の皆減などにより3億8千70万5千円（20.0%）の減となりました。

維持補修費については、霞クリーンセンター維持管理費5千347万円の増などにより3千857万1千円（13.8%）の増となりました。

補助費等については、定額給付金給付事業費7億532万4千円の皆減、中郷土地区画整理事業7千万円の減などにより7億9千140万2千円（45.7%）の減となりました。

積立金については、財政調整基金積立金5億6千996万9千円の増などにより5億6千465万円（6526.2%）の増となりました。

繰出金については、国民健康保険特別会計繰出金2千468万4千円の増、後期高齢者医療特別会計繰出金1千685万9千円の増、公共下水道事業特別会計繰出金8千581万3千円の増などにより1億6千592万9千円（8.9%）の増となりました。

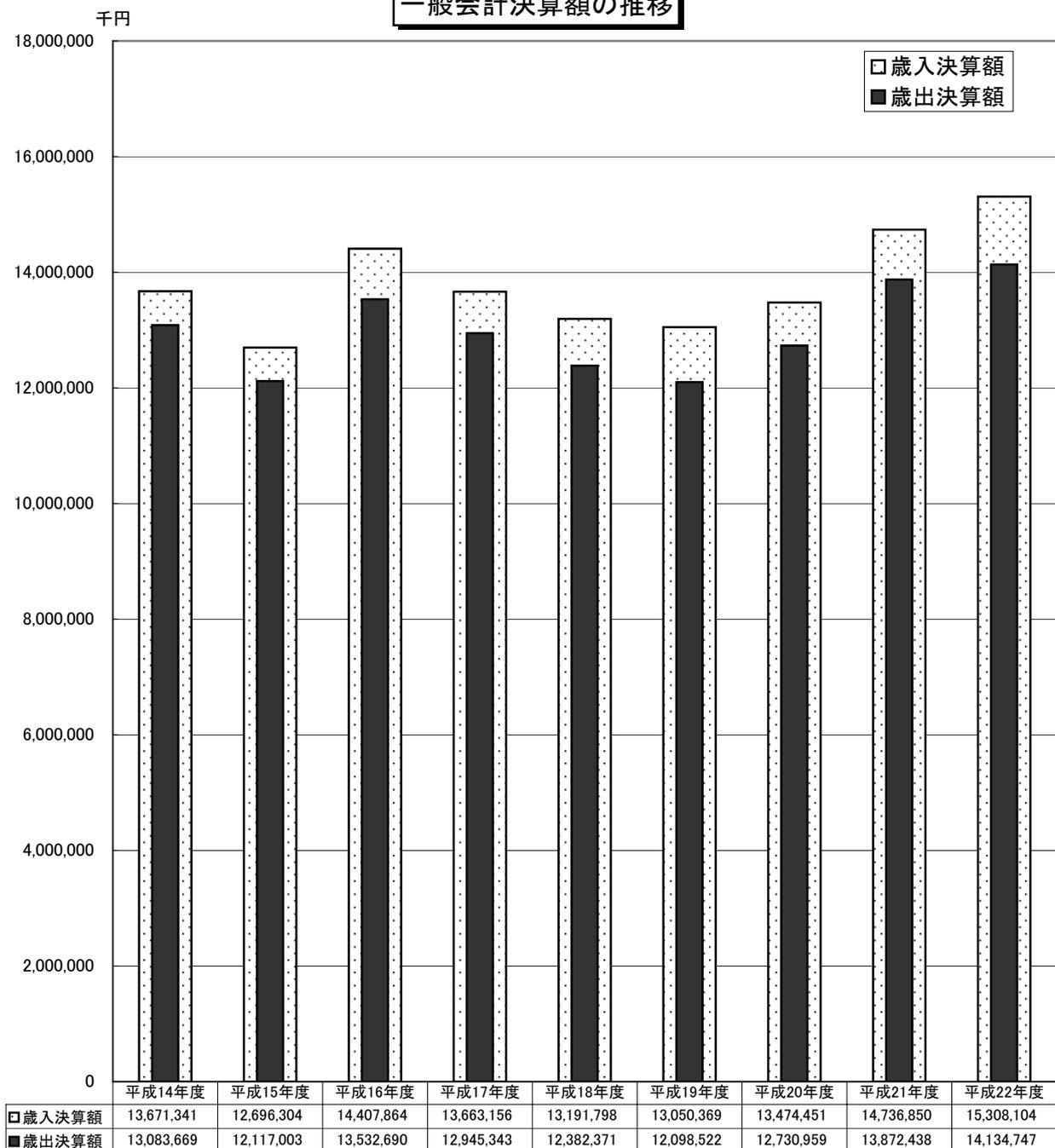
2-2 平成22年度一般会計決算の状況

一般会計の決算における歳入については、15,308,104千円で対前年度比3.9%の増、歳出については、14,134,747千円で対前年度比1.9%の増となりました。

(単位：千円、%)

区 分	平成22年度	平成21年度	対前年度増減額	対前年度増減率
歳入決算額	15,308,104	14,736,850	571,254	3.9
歳出決算額	14,134,747	13,872,438	262,309	1.9
歳入歳出差引額	1,173,357	864,412	308,945	35.7
翌年度へ繰り越すべき財源	213,915	144,446	69,469	48.1
実質収支額	959,442	719,966	239,476	33.3

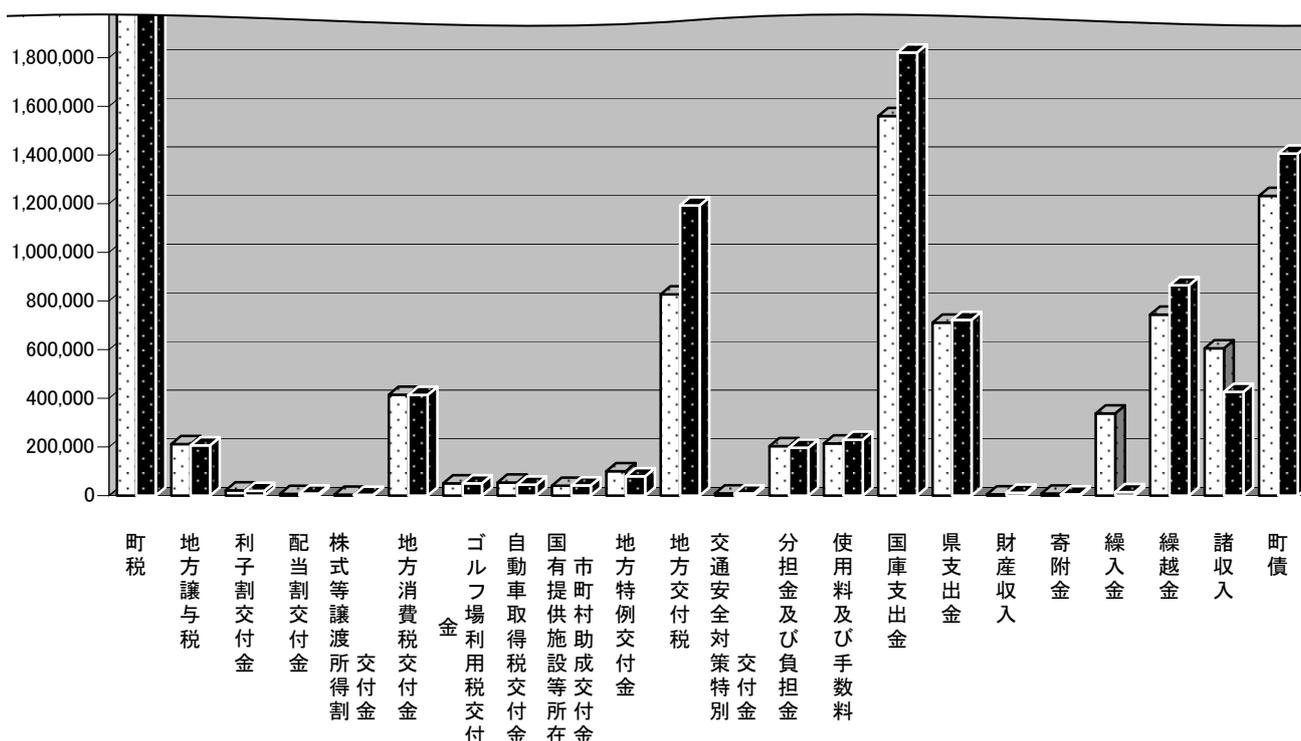
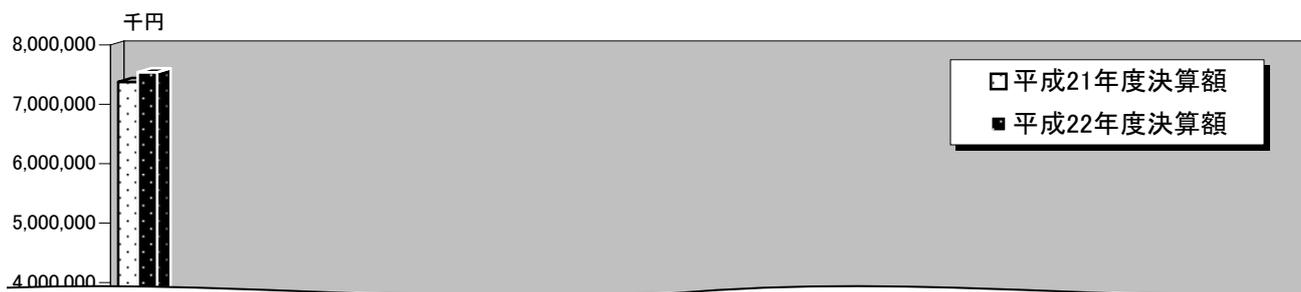
一般会計決算額の推移



2-3 一般会計決算の歳入の状況

(単位：千円，%)

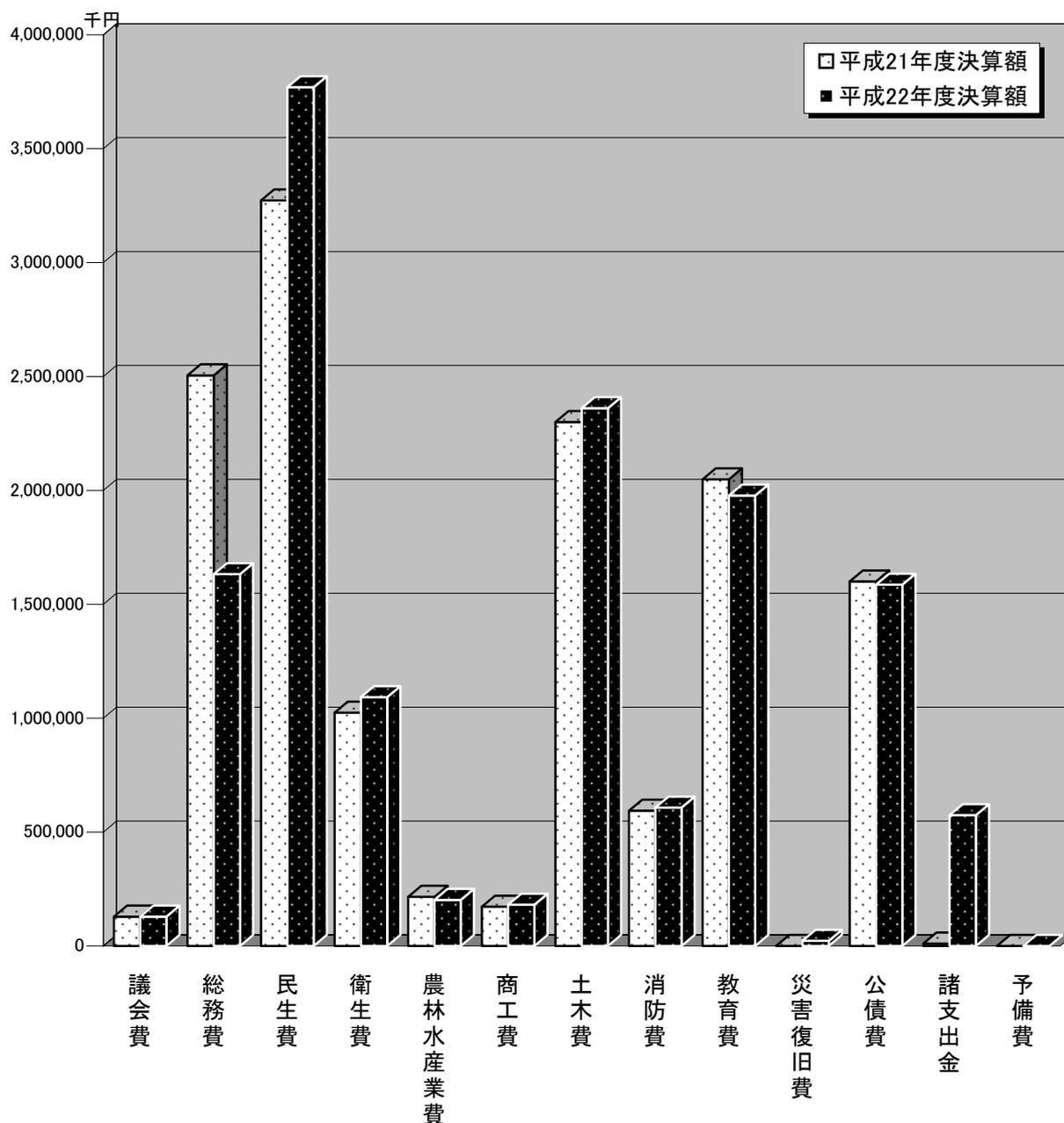
区 分	平成22年度 予算現額	平成22年度 決算額	決算額 構成比	平成21年度 決算額	対前年度 決算額 増減額	対前年度 決算額 増減率
町 税	7,071,209	7,540,998	49.3	7,377,035	163,963	2.2
地方譲与税	200,500	206,250	1.3	211,802	△5,552	△2.6
利子割交付金	18,900	19,632	0.1	21,747	△2,115	△9.7
配当割交付金	5,000	8,902	0.1	7,002	1,900	27.1
株式等譲渡所得割交付金	3,900	3,391	0.0	3,974	△583	△14.7
地方消費税交付金	381,100	413,661	2.7	414,373	△712	△0.2
ゴルフ場利用税交付金	48,100	50,521	0.3	50,232	289	0.6
自動車取得税交付金	47,600	45,039	0.3	53,443	△8,404	△15.7
国有提供施設等所在市町村助成交付金	41,766	41,766	0.3	40,580	1,186	2.9
地方特例交付金	79,287	79,287	0.5	99,940	△20,653	△20.7
地方交付税	1,192,194	1,192,194	7.8	827,070	365,124	44.1
交通安全対策特別交付金	8,700	8,948	0.1	9,259	△311	△3.4
分担金及び負担金	206,076	196,653	1.3	203,153	△6,500	△3.2
使用料及び手数料	228,437	229,740	1.5	214,228	15,512	7.2
国庫支出金	1,921,091	1,820,840	11.9	1,559,872	260,968	16.7
県支出金	728,308	721,997	4.7	710,931	11,066	1.6
財産収入	4,436	12,021	0.1	4,920	7,101	144.3
寄 附 金	5,001	5,611	0.0	8,538	△2,927	△34.3
繰 入 金	15,309	14,213	0.1	337,702	△323,489	△95.8
繰 越 金	864,412	864,412	5.6	743,492	120,920	16.3
諸 収 入	421,592	426,128	2.8	605,557	△179,429	△29.6
町 債	1,674,000	1,405,900	9.2	1,232,000	173,900	14.1
歳 入 合 計	15,166,918	15,308,104	100.0	14,736,850	571,254	3.9



2-4 一般会計決算の歳出の状況

(単位：千円，%)

区 分	平成22年度 予算現額	平成22年度 決算額	決算額 構成比	平成21年度 決算額	対前年度 決算額 増減額	対前年度 決算額 増減率
議会費	132,373	128,953	0.9	129,080	△127	△0.1
総務費	1,725,020	1,632,148	11.5	2,504,911	△872,763	△34.8
民生費	3,910,234	3,769,584	26.7	3,272,698	496,886	15.2
衛生費	1,124,470	1,092,206	7.7	1,024,257	67,949	6.6
農林水産業費	210,899	202,374	1.4	215,823	△13,449	△6.2
商工費	184,207	181,249	1.3	172,534	8,715	5.1
土木費	2,579,270	2,360,773	16.7	2,300,149	60,624	2.6
消防費	611,829	607,287	4.3	593,845	13,442	2.3
教育費	2,245,013	1,977,167	14.0	2,048,493	△71,326	△3.5
災害復旧費	266,539	22,773	0.2	0	22,773	皆増
公債費	1,585,931	1,585,931	11.2	1,599,996	△14,065	△0.9
諸支出金	576,552	574,302	4.1	10,652	563,650	5,291.5
予備費	14,581	0	0.0	0	0	0.0
歳出合計	15,166,918	14,134,747	100.0	13,872,438	262,309	1.9

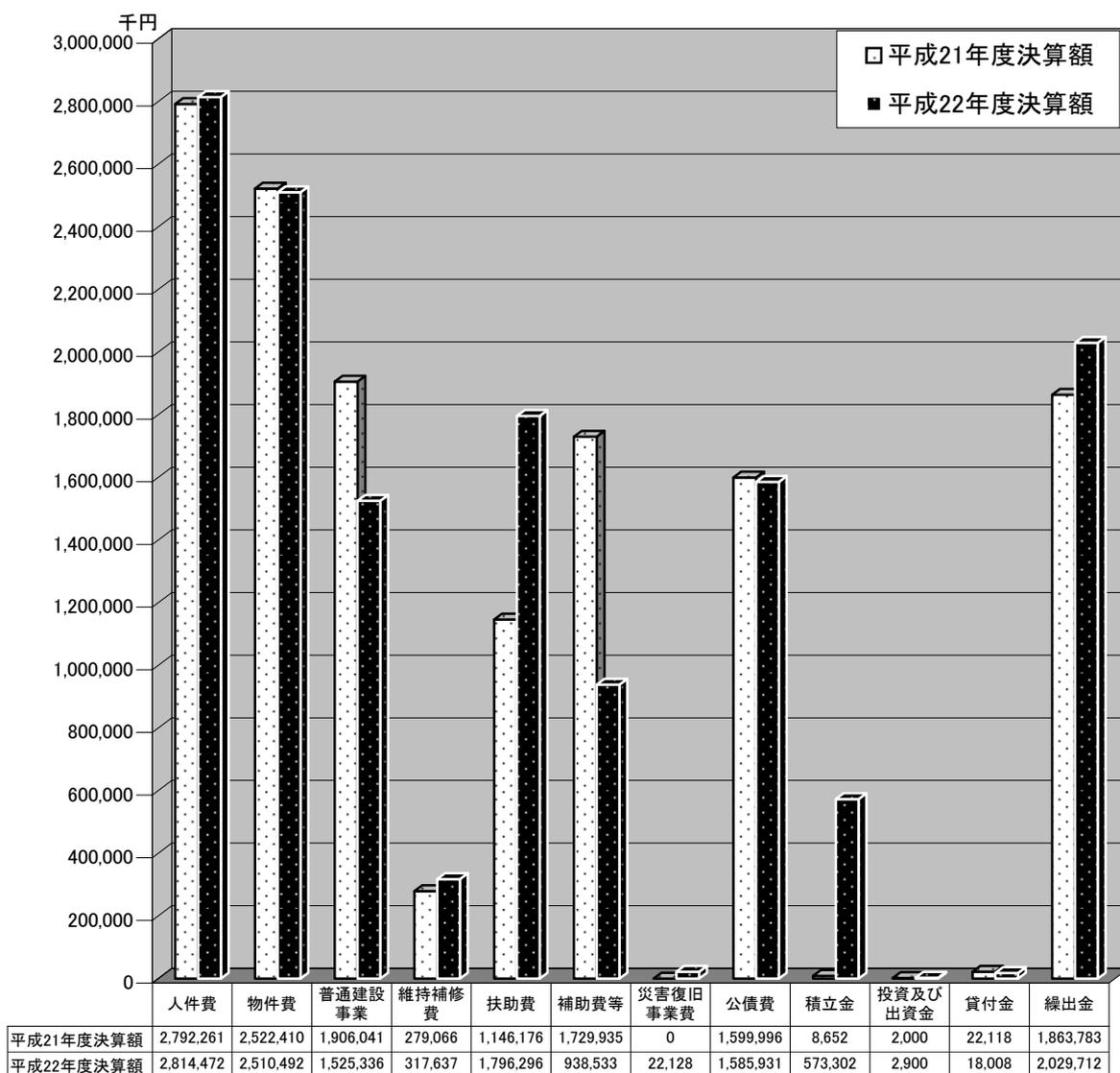


2-5 一般会計決算の歳出（性質別）の状況

総括

(単位：千円，%)

区分	平成22年度 決算額	決算額 構成比	平成21年度 決算額	対前年度 決算額 増減額	対前年度 決算額 増減率
人件費	2,814,472	19.9	2,792,261	22,211	0.8
物件費	2,510,492	17.8	2,522,410	△ 11,918	△ 0.5
普通建設事業費	1,525,336	10.8	1,906,041	△ 380,705	△ 20.0
その他	7,284,447	51.5	6,651,726	632,721	9.5
維持補修費	317,637	2.2	279,066	38,571	13.8
扶助費	1,796,296	12.7	1,146,176	650,120	56.7
補助費等	938,533	6.6	1,729,935	△ 791,402	△ 45.7
災害復旧事業費	22,128	0.2	0	22,128	皆増
公債費	1,585,931	11.2	1,599,996	△ 14,065	△ 0.9
積立金	573,302	4.1	8,652	564,650	6,526.2
投資及び出資金	2,900	0.0	2,000	900	45.0
貸付金	18,008	0.1	22,118	△ 4,110	△ 18.6
繰出金	2,029,712	14.4	1,863,783	165,929	8.9
合計	14,134,747	100.0	13,872,438	262,309	1.9

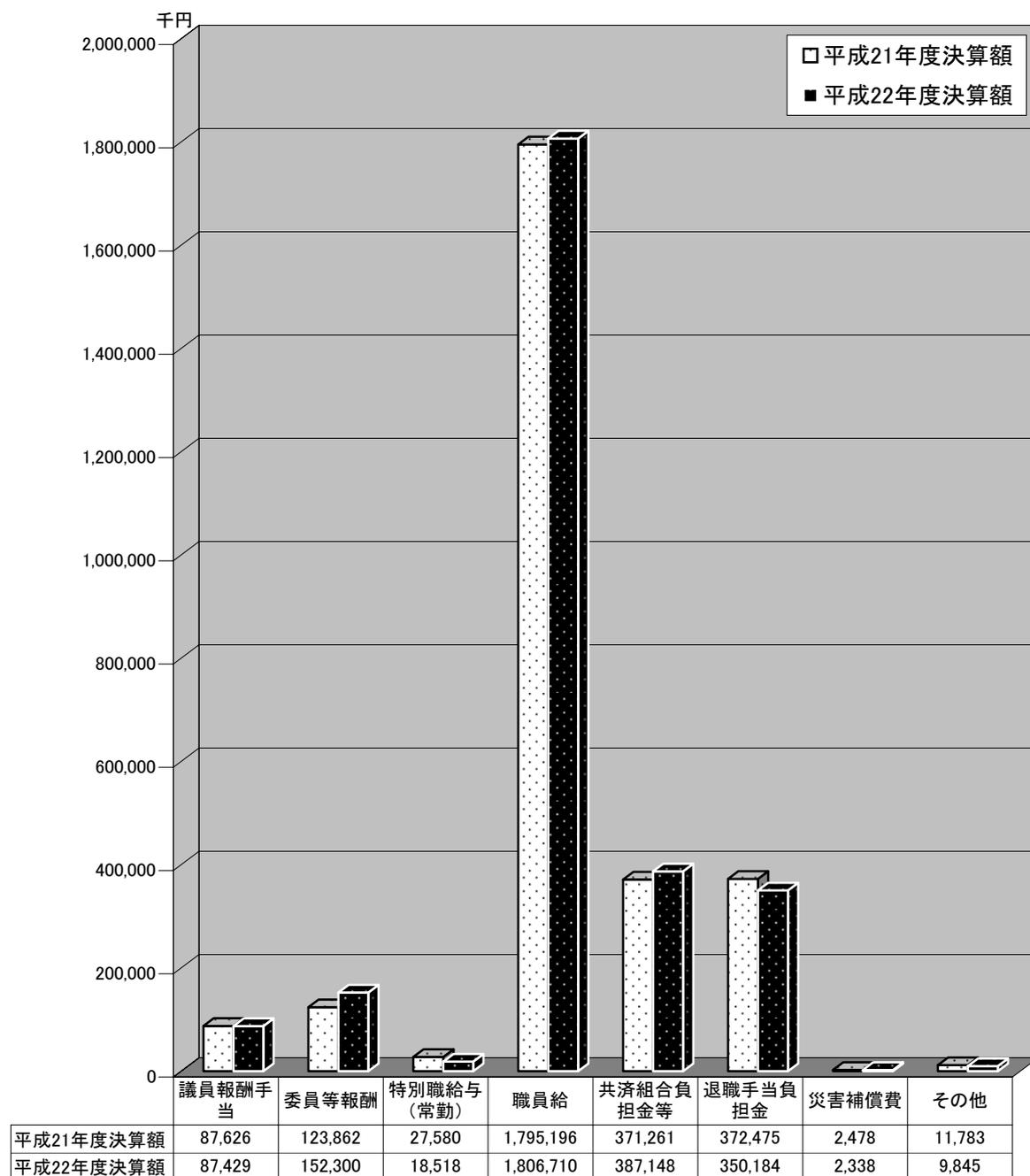


一般会計決算の歳出（性質別内訳明細）の状況

①人件費

（単位：千円，％）

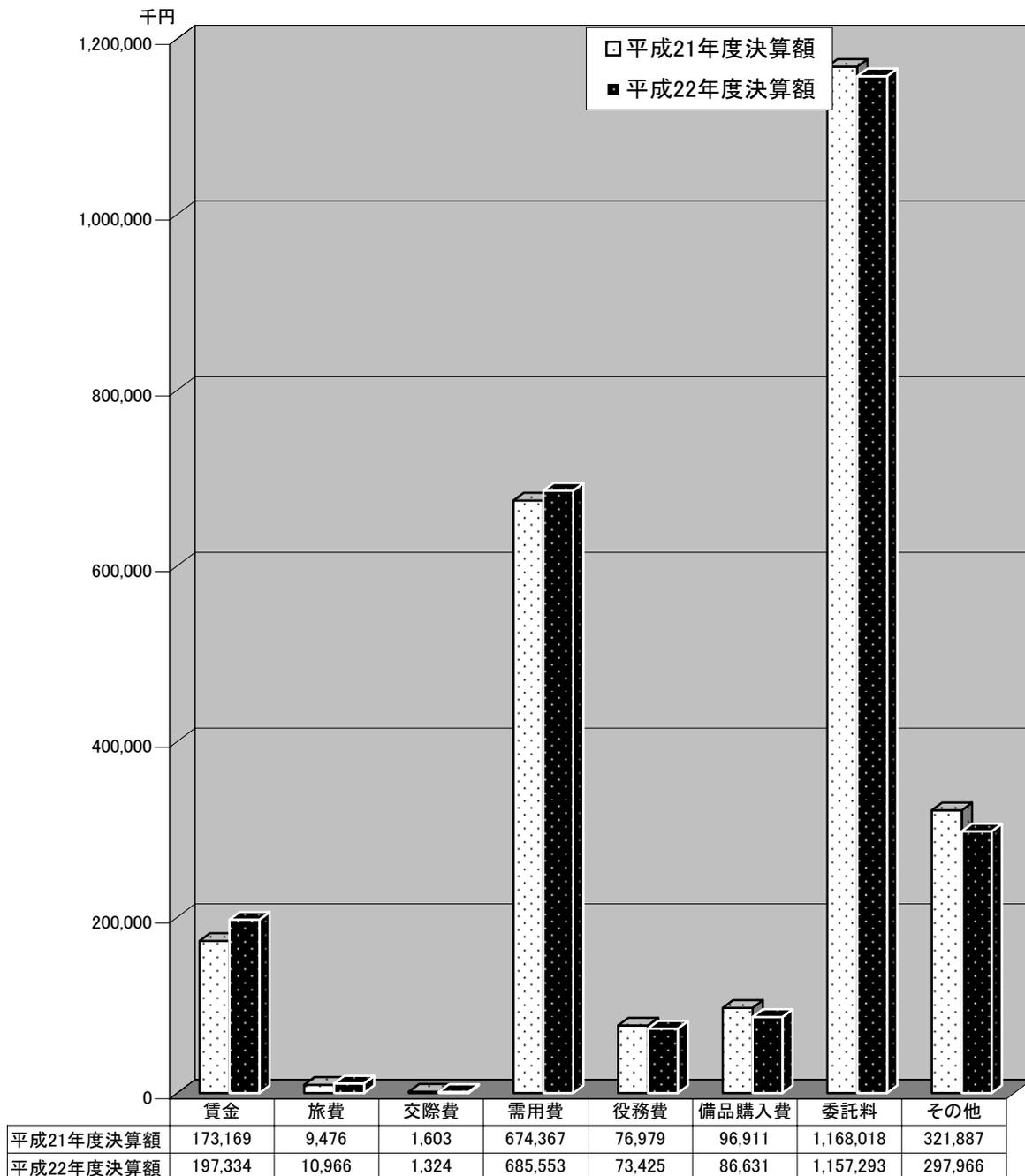
区 分	平成22年度 決算額	決算額 構成比	平成21年度 決算額	対前年度 決算額 増減額	対前年度 決算額 増減率
議員報酬手当	87,429	3.1	87,626	△ 197	△ 0.2
委員等報酬	152,300	5.4	123,862	28,438	23.0
特別職給与（常勤）	18,518	0.7	27,580	△ 9,062	△ 32.9
職員給	1,806,710	64.2	1,795,196	11,514	0.6
共済組合負担金等	387,148	13.8	371,261	15,887	4.3
退職手当負担金	350,184	12.4	372,475	△ 22,291	△ 6.0
災害補償費	2,338	0.1	2,478	△ 140	△ 5.6
その他	9,845	0.3	11,783	△ 1,938	△ 16.4
計	2,814,472	100.0	2,792,261	22,211	0.8



②物件費

(単位：千円，%)

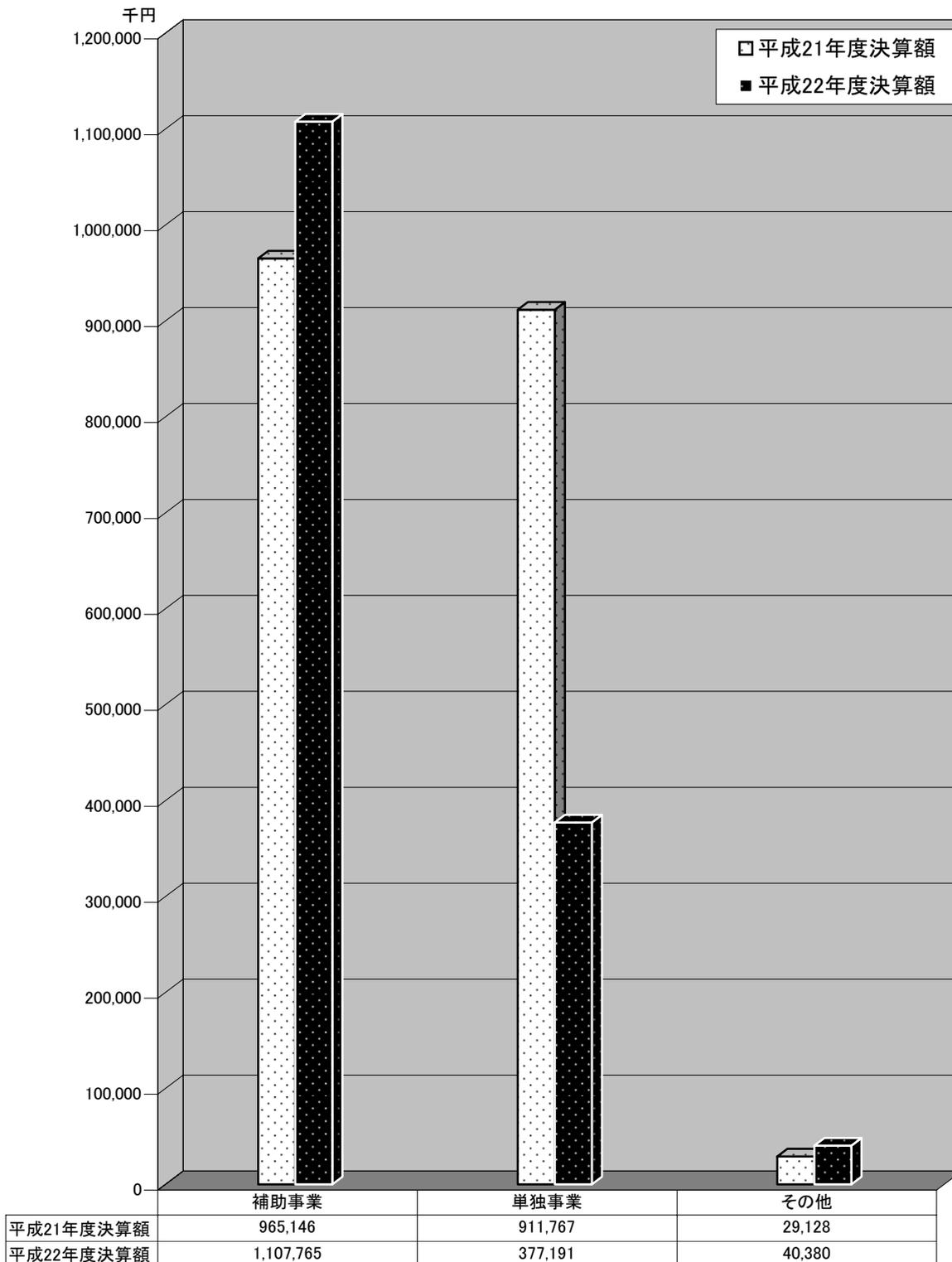
区 分	平成22年度 決 算 額	決算額 構成比	平成21年度 決 算 額	対前年度決算 額増減額	対前年度決算 額増減率
賃金	197,334	7.9	173,169	24,165	14.0
旅費	10,966	0.4	9,476	1,490	15.7
交際費	1,324	0.1	1,603	△ 279	△ 17.4
需用費	685,553	27.3	674,367	11,186	1.7
役務費	73,425	2.9	76,979	△ 3,554	△ 4.6
備品購入費	86,631	3.4	96,911	△ 10,280	△ 10.6
委託料	1,157,293	46.1	1,168,018	△ 10,725	△ 0.9
その他	297,966	11.9	321,887	△ 23,921	△ 7.4
計	2,510,492	100.0	2,522,410	△ 11,918	△ 0.5



③普通建設事業費

(単位：千円，%)

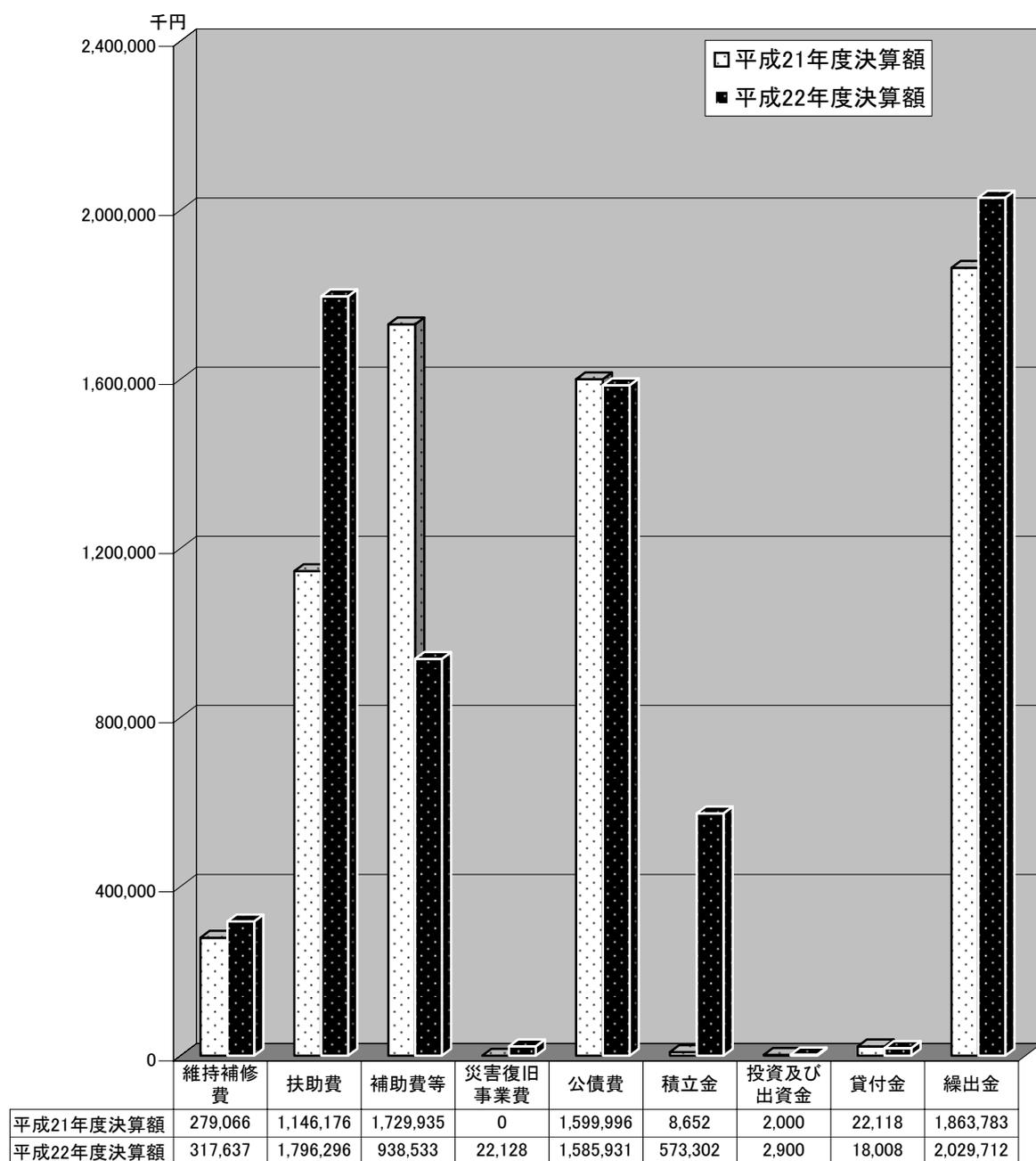
区 分	平成22年度 決 算 額	決算額 構成比	平成21年度 決 算 額	対前年度決算 額増減額	対前年度決算 額増減率
補助事業	1,107,765	72.6	965,146	142,619	14.8
単独事業	377,191	24.7	911,767	△ 534,576	△ 58.6
その他	40,380	2.7	29,128	11,252	38.6
計	1,525,336	100.0	1,906,041	△ 380,705	△ 20.0



④その他

(単位：千円，%)

区 分	平成22年度 決 算 額	決算額 構成比	平成21年度 決 算 額	対前年度 決 算 額 増 減 額	対前年度 決 算 額 増 減 率
維持補修費	317,637	4.3	279,066	38,571	13.8
扶助費	1,796,296	24.7	1,146,176	650,120	56.7
補助費等	938,533	12.9	1,729,935	△ 791,402	△ 45.7
災害復旧事業費	22,128	0.3	0	22,128	皆増
公債費	1,585,931	21.8	1,599,996	△ 14,065	△ 0.9
積立金	573,302	7.9	8,652	564,650	6,526.2
投資及び出資金	2,900	0.0	2,000	900	45.0
貸付金	18,008	0.2	22,118	△ 4,110	△ 18.6
繰出金	2,029,712	27.9	1,863,783	165,929	8.9
計	7,284,447	100.0	6,651,726	632,721	9.5



3 平成22年度国民健康保険特別会計決算の概要

平成22年度国民健康保険特別会計の決算額は、歳入総額51億4千931万5千円、歳出総額45億6千552万4千円となり、前年度と比較し、歳入については、8千407万7千円（1.7%）の増、歳出については、2千531万8千円（0.6%）の減となりました。

その結果、歳入歳出差引額は、5億8千379万1千円となり、1億939万5千円（23.1%）の増となりました。

はじめに、歳入の主なものについては、国保税が決算額13億270万5千円で、前年度と比較し、2千368万8千円（1.8%）の減、国庫支出金が決算額11億5千990万円で、3千466万6千円（3.1%）の増、療養給付費等交付金が決算額2億5千219万3千円で、1億1千290万5千円（30.9%）の減、前期高齢者交付金が決算額8億5千59万2千円で、6千606万7千円

（8.4%）の増、県支出金が決算額2億1千679万7千円で、848万2千円（4.1%）の増となりました。

次に歳出の主なものについては、保険給付費が決算額30億8千393万6千円で、946万7千円（0.3%）の減、後期高齢者支援金等が決算額5億7千939万6千円で、3千992万4千円（6.4%）の減、老人保健拠出金が決算額228万7千円で、308万4千円（57.4%）の減、共同事業拠出金が決算額4億9千919万9千円で、2千393万9千円（5.0%）の増となりました。

歳入・歳出の状況

【歳入】

（単位：千円、%）

区 分	平成22年度 予算現額	平成22年度 決算額	決算額 構成比	平成21年度 決算額	対前年度 決算額 増減額	対前年度 決算額 増減率
国民健康保険税	1,331,446	1,302,705	25.3	1,326,393	△ 23,688	△ 1.8
使用料及び手数料	1,200	1,309	0.0	1,331	△ 22	△ 1.7
国庫支出金	1,106,982	1,159,900	22.5	1,125,234	34,666	3.1
療養給付費等交付金	262,675	252,193	4.9	365,098	△ 112,905	△ 30.9
前期高齢者交付金	850,592	850,592	16.5	784,525	66,067	8.4
県支出金	213,306	216,797	4.2	208,315	8,482	4.1
共同事業交付金	518,266	463,407	9.1	493,620	△ 30,213	△ 6.1
財産収入	1	0	0.0	0	0	0.0
繰入金	418,728	400,186	7.8	376,314	23,872	6.3
繰越金	474,395	474,396	9.2	362,857	111,539	30.7
諸収入	19,207	27,830	0.5	21,551	6,279	29.1
歳入合計	5,196,798	5,149,315	100.0	5,065,238	84,077	1.7

【歳出】

（単位：千円、%）

区 分	平成22年度 予算現額	平成22年度 決算額	決算額 構成比	平成21年度 決算額	対前年度 決算額 増減額	対前年度 決算額 増減率
総務費	108,263	104,908	2.3	95,286	9,622	10.1
保険給付費	3,671,676	3,083,936	67.6	3,093,403	△ 9,467	△ 0.3
後期高齢者支援金等	579,407	579,396	12.7	619,320	△ 39,924	△ 6.4
前期高齢者納付金等	1,008	1,002	0.0	1,761	△ 759	△ 43.1
老人保健拠出金	2,300	2,287	0.1	5,371	△ 3,084	△ 57.4
介護納付金	247,928	247,064	5.4	235,047	12,017	5.1
共同事業拠出金	518,269	499,199	10.9	475,260	23,939	5.0
保健事業費	45,360	37,003	0.8	36,703	300	0.8
基金積立金	1	0	0.0	0	0	0.0
諸支出金	12,707	10,729	0.2	28,691	△ 17,962	△ 62.6
予備費	9,879	0	0.0	0	0	0.0
歳出合計	5,196,798	4,565,524	100.0	4,590,842	△ 25,318	△ 0.6

【歳入歳出差引等】

（単位：千円、%）

区 分	平成22年度決算額	平成21年度決算額	対前年度増減額	対前年度増減率
歳入歳出差引額	583,791	474,396	109,395	23.1
翌年度へ繰り越すべき財源	0	0	0	0.0
実質収支額	583,791	474,396	109,395	23.1

4 平成22年度公共下水道事業特別会計決算の概要

平成22年度公共下水道事業特別会計の決算額は、歳入総額18億2千553万7千円、歳出総額17億4千490万6千円となり、前年度と比較し、歳入については、3億5千383万9千円（16.2%）の減、歳出については、3億9千208万8千円（18.3%）の減となりました。

その結果、歳入歳出差引額は、8千63万1千円で、翌年度へ繰り越すべき財源として3千231万6千円を充てると、実質収支額は、4千831万5千円となり、前年度と比較し、2千844万7千円の増となりました。

はじめに、歳入の主なものについては、分担金及び負担金が決算額646万6千円で、5千437万4千円（89.4%）の減、使用料及び手数料が決算額5億1千226万9千円で、5千432万9千円（11.9%）の増、国庫支出金が決算額2億125万4千円で、7千137万円（26.2%）の減、県支出金が決算額2億2千836万8千円で、6千811万2千円（42.5%）の増、繰入金が決算額7億6千807万1千円で、8千581万3千円（12.6%）の増、町債が決算額6千660万円で、4億3千10万円（86.6%）の減となりました。

次に、歳出の主なものについては、下水道費が霞ヶ浦湖北流域下水道維持管理負担金で決算額3億781万8千円で5千153万4千円（20.1%）の増、公共下水道整備事業で決算額5億2千300万5千円で6千710万円（11.4%）の減などにより、決算額10億824万1千円で、1千58万9千円（1.0%）の減となりました。また、公債費については、決算額7億3千666万5千円で、3億8千149万9千円（34.1%）の減となりました。

歳入・歳出の状況

【歳入】

(単位：千円，%)

区 分	平成22年度 予算現額	平成22年度 決算額	決算額 構成比	平成21年度 決算額	対前年度 決算額 増減額	対前年度 決算額 増減率
分担金及び負担金	6,100	6,466	0.4	60,840	△ 54,374	△ 89.4
使用料及び手数料	492,691	512,269	28.1	457,940	54,329	11.9
国庫支出金	233,624	201,254	11.0	272,624	△ 71,370	△ 26.2
県支出金	328,216	228,368	12.5	160,256	68,112	42.5
財産収入	1	0	0.0	0	0	0.0
繰入金	768,071	768,071	42.1	682,258	85,813	12.6
繰越金	42,382	42,383	2.3	44,619	△ 2,236	△ 5.0
諸収入	33	126	0.0	4,139	△ 4,013	△ 97.0
町債	93,300	66,600	3.6	496,700	△ 430,100	△ 86.6
歳入合計	1,964,418	1,825,537	100.0	2,179,376	△ 353,839	△ 16.2

【歳出】

(単位：千円，%)

	平成22年度 予算現額	平成22年度 決算額	決算額 構成比	平成21年度 決算額	対前年度 決算額 増減額	対前年度 決算額 増減率
下水道費	1,227,450	1,008,241	57.8	1,018,830	△ 10,589	△ 1.0
公債費	736,668	736,665	42.2	1,118,164	△ 381,499	△ 34.1
予備費	300	0	0.0	0	0	0.0
歳出合計	1,964,418	1,744,906	100.0	2,136,994	△ 392,088	△ 18.3

【歳入歳出差引等】

(単位：千円，%)

区 分	平成22年度決算額	平成21年度決算額	対前年度増減額	対前年度増減率
歳入歳出差引額	80,631	42,382	38,249	90.2
翌年度へ繰り越すべき財源	32,316	22,514	9,802	43.5
実質収支額	48,315	19,868	28,447	143.2

5 平成22年度老人保健特別会計決算の概要

平成22年度老人保健特別会計の決算額は、歳入総額1千508万3千円、歳出総額1千508万3千円となりました。

この老人保健特別会計は、「高齢者の医療の確保に関する法律」において平成22年度をもって廃止となり、歳入歳出差引で余剰となる額を一般会計に繰り出して、清算を行いました。

歳入・歳出の状況

【歳入】

(単位：千円、%)

区 分	平成22年度 予算現額	平成22年度 決算額	決算額 構成比	平成21年度 決算額	対前年度 決算額 増減額	対前年度 決算額 増減率
支払基金交付金	0	1	0.0	0	1	皆増
国庫支出金	0	0	0.0	6,474	△ 6,474	皆減
繰入金	2,158	0	0.0	0	0	0.0
繰越金	15,000	15,000	99.5	40,359	△ 25,359	△ 62.8
諸収入	82	82	0.5	1,863	△ 1,781	△ 95.6
歳入合計	17,240	15,083	100.0	48,696	△ 33,613	△ 69.0

【歳出】

(単位：千円、%)

区 分	平成22年度 予算現額	平成22年度 決算額	決算額 構成比	平成21年度 決算額	対前年度 決算額 増減額	対前年度 決算額 増減率
医療諸費	202	141	0.9	579	△ 438	△ 75.6
諸支出金	16,038	14,942	99.1	33,117	△ 18,175	△ 54.9
予備費	1,000	0	0.0	0	0	0.0
歳出合計	17,240	15,083	100.0	33,696	△ 18,613	△ 55.2

【歳入歳出差引等】

(単位：千円、%)

区 分	平成22年度決算額	平成21年度決算額	対前年度増減額	対前年度増減率
歳入歳出差引額	0	15,000	△ 15,000	皆減
翌年度へ繰り越すべき財源	0	0	0	0.0
実質収支額	0	15,000	△ 15,000	皆減

6 平成22年度土地区画整理事業特別会計決算の概要

平成22年度土地区画整理事業特別会計の決算額は、歳入総額6億6千61万6千円、歳出総額3億7千642万1千円となり、前年度と比較し、歳入については、1億311万6千円（13.5%）の減、歳出については、2億3千315万2千円（38.2%）の減となりました。

その結果、歳入歳出差引額は、2億8千419万5千円となり、翌年度へ繰り越すべき財源2千170万3千円を減じ実質収支額は2億6千249万2千円で、前年度と比較し、1億833万3千円の増となりました。

歳入の主なものについては、財産収入が決算額3億7千392万3千円で、1億4千394万8千円（62.6%）の増となりました。

歳出の主なものについては、事業費が岡崎土地区画整理事業で140万4千円の増、本郷第一土地区画整理事業で2億2千46万円の減により、決算額3千486万2千円で、2億1千905万6千円（86.3%）の減となりました。

歳入・歳出の状況

【歳入】

（単位：千円，%）

区 分	平成22年度 予算現額	平成22年度 決算額	決算額 構成比	平成21年度 決算額	対前年度 決算額 増減額	対前年度 決算額 増減率
国庫支出金	0	0	0.0	58,800	△ 58,800	皆減
財産収入	176,222	373,923	56.6	229,975	143,948	62.6
繰入金	133,563	132,454	20.1	110,337	22,117	20.0
繰越金	112,092	154,159	23.3	298,289	△ 144,130	△ 48.3
諸収入	79	80	0.0	231	△ 151	△ 65.4
町債	0	0	0.0	66,100	△ 66,100	皆減
歳入合計	421,956	660,616	100.0	763,732	△ 103,116	△ 13.5

【歳出】

（単位：千円，%）

区 分	平成22年度 予算現額	平成22年度 決算額	決算額 構成比	平成21年度 決算額	対前年度 決算額 増減額	対前年度 決算額 増減率
事業費	79,796	34,862	9.3	253,918	△ 219,056	△ 86.3
公債費	341,560	341,559	90.7	355,655	△ 14,096	△ 4.0
予備費	600	0	0.0	0	0	0.0
歳出合計	421,956	376,421	100.0	609,573	△ 233,152	△ 38.2

【歳入歳出差引等】

（単位：千円，%）

区 分	平成22年度決算額	平成21年度決算額	対前年度増減額	対前年度増減率
歳入歳出差引額	284,195	154,159	130,036	84.4
翌年度へ繰り越すべき財源	21,703	0	21,703	皆増
実質収支額	262,492	154,159	108,333	70.3

7 平成22年度農業集落排水事業特別会計決算の概要

平成22年度農業集落排水事業特別会計の決算額は、歳入総額3億3千135万2千円、歳出総額3億858万1千円となり、前年度と比較し、歳入については、1千495万8千円（4.3%）の減、歳出については、2千271万6千円（6.9%）の減となりました。

その結果、歳入歳出差引額は、2千277万1千円となり、翌年度へ繰り越すべき財源として1千864万8千円を充てると、実質収支額は、412万3千円となり、前年度と比較し、646万1千円の減となりました。

歳入の主なものについては、分担金及び負担金が決算額1千587万円で、52万1千円（3.4%）の増、使用料が決算額1千309万3千円で、46万2千円（3.7%）の増、国庫支出金が決算額9千203万6千円で、1千621万6千円（21.4%）の増、県支出金が決算額3千143万8千円で、541万9千円（20.8%）の増、町債が決算額8千570万円で、4千610万円（35.0%）の減となりました。

歳出の主なものについては、事業費が決算額2億523万3千円で、2千728万3千円（11.7%）の減、管理費が決算額2千176万5千円で751万2千円（25.7%）の減、公債費が決算額5千52万5千円で、675万2千円（15.4%）の増となりました。

歳入・歳出の状況

【歳入】

(単位：千円，%)

区 分	平成22年度 予算現額	平成22年度 決算額	決算額 構成比	平成21年度 決算額	対前年度 決算額 増減額	対前年度 決算額 増減率
分担金及び負担金	15,378	15,870	4.8	15,349	521	3.4
使用料及び手数料	12,686	13,093	3.9	12,631	462	3.7
国庫支出金	203,850	92,036	27.8	75,820	16,216	21.4
県支出金	31,438	31,438	9.5	26,019	5,419	20.8
繰入金	72,025	72,025	21.7	62,731	9,294	14.8
繰越金	15,012	15,013	4.5	8,413	6,600	78.5
諸収入	6,177	6,177	1.9	13,547	△7,370	△54.4
町債	213,700	85,700	25.9	131,800	△46,100	△35.0
歳入合計	570,266	331,352	100.0	346,310	△14,958	△4.3

【歳出】

(単位：千円，%)

区 分	平成22年度 予算現額	平成22年度 決算額	決算額 構成比	平成21年度 決算額	対前年度 決算額 増減額	対前年度 決算額 増減率
事業費	465,303	205,233	66.5	232,516	△27,283	△11.7
管理費	23,078	21,765	7.0	29,277	△7,512	△25.7
公債費	50,527	50,525	16.4	43,773	6,752	15.4
積立金	31,058	31,058	10.1	25,731	5,327	20.7
予備費	300	0	0.0	0	0	0.0
歳出合計	570,266	308,581	100.0	331,297	△22,716	△6.9

【歳入歳出差引等】

(単位：千円，%)

区 分	平成22年度決算額	平成21年度決算額	対前年度増減額	対前年度増減率
歳入歳出差引額	22,771	15,013	7,758	51.7
翌年度へ繰り越すべき財源	18,648	4,429	14,219	321.0
実質収支額	4,123	10,584	△6,461	△61.0

8 平成22年度介護保険特別会計決算の概要

平成22年度介護保険特別会計の決算額は、歳入総額20億6千356万5千円、歳出総額20億4千380万4千円となり、前年度と比較し、歳入については、6千414万9千円（3.2%）の増、歳出については、6千49万8千円（3.1%）の増となりました。

その結果、歳入歳出差引額は、1千976万1千円となり、実質収支額は同額で、前年度と比較し、365万1千円の増となりました。

はじめに、歳入の主なものについては、保険料が、保険料率の改定及び65歳以上の第1号被保険者数の増加に伴い、決算額4億2千404万2千円で、1千248万9千円（3.0%）の増、国庫支出金が介護給付費負担金の増により、決算額4億1千811万3千円で、1千336万7千円（3.3%）の増、支払基金交付金が決算額5億8千449万7千円で、1千50万4千円（1.8%）の増、県支出金が決算額3億8万4千円で、965万4千円（3.3%）の増、繰入金が決算額3億2千36万6千円で、1千69万6千円（3.5%）の増となりました。

次に、歳出の主なものについては、総務費が介護保険システムの入替等により、決算額6千675万5千円で、600万1千円（9.9%）の増、保険給付費が居宅介護サービス給付費、住宅改修費等の伸びにより、決算額19億3千539万7千円で、5千329万7千円（2.8%）の増、地域支援事業費が委託料の増等により、決算額3千11万6千円で、110万1千円（3.8%）の増となりました。

歳入・歳出の状況

【歳入】

(単位：千円、%)

区 分	平成22年度 予算現額	平成22年度 決算額	決算額 構成比	平成21年度 決算額	対前年度 決算額 増減額	対前年度 決算額 増減率
保 険 料	427,028	424,042	20.5	411,553	12,489	3.0
使用料及び手数料	100	107	0.1	123	△ 16	△ 13.0
国 庫 支 出 金	439,940	418,113	20.3	404,746	13,367	3.3
支払基金交付金	599,210	584,497	28.3	573,993	10,504	1.8
県 支 出 金	293,514	300,084	14.5	290,430	9,654	3.3
財 産 収 入	1	0	0.0	0	0	0.0
繰 入 金	330,214	320,366	15.5	309,670	10,696	3.5
繰 越 金	16,110	16,110	0.8	8,764	7,346	83.8
諸 収 入	109	246	0.0	137	109	79.6
歳 入 合 計	2,106,226	2,063,565	100.0	1,999,416	64,149	3.2

【歳出】

(単位：千円、%)

区 分	平成22年度 予算現額	平成22年度 決算額	決算額 構成比	平成21年度 決算額	対前年度 決算額 増減額	対前年度 決算額 増減率
総 務 費	68,824	66,755	3.3	60,754	6,001	9.9
保 険 給 付 費	1,989,078	1,935,397	94.7	1,882,100	53,297	2.8
財政安定化基金拠出金	2	0	0.0	0	0	0.0
地域支援事業費	35,110	30,116	1.5	29,015	1,101	3.8
基金積立金	1	0	0.0	0	0	0.0
諸 支 出 金	12,214	11,536	0.5	11,437	99	0.9
予 備 費	997	0	0.0	0	0	0.0
歳 出 合 計	2,106,226	2,043,804	100.0	1,983,306	60,498	3.1

【歳入歳出差引等】

(単位：千円、%)

区 分	平成22年度決算額	平成21年度決算額	対前年度増減額	対前年度増減率
歳入歳出差引額	19,761	16,110	3,651	22.7
翌年度へ繰り越すべき財源	0	0	0	0.0
実 質 収 支 額	19,761	16,110	3,651	22.7

9 平成22年度後期高齢者医療特別会計決算の概要

平成22年度後期高齢者医療特別会計の決算額は、歳入総額6億267万5千円、歳出総額6億197万9千円となり、前年度と比較し、歳入については、2千772万5千円（4.8%）の増、歳出については、2千771万円（4.8%）の増となりました。

その結果、歳入歳出差引額は、69万6千円となり、1万5千円（2.2%）の増となりました。

歳入の主なものについては、保険料が2億4千6万9千円で、前年度と比較し、1千306万6千円（5.8%）の増、繰入金が3億5千588万7千円で、1千686万円（5.0%）の増となりました。

また、歳出の主なものについては、後期高齢者医療広域連合へ納付する納付金が5億6千146万4千円で、2千603万8千円（4.9%）の増となりました。

歳入・歳出の状況

【歳入】

（単位：千円、%）

区 分	平成22年度 予算現額	平成22年度 決 算 額	決算額 構成比	平成21年度 決 算 額	対前年度 決 算 額 増 減 額	対前年度 決 算 額 増 減 率
保 険 料	247,599	240,069	39.8	227,003	13,066	5.8
使用料及び手数料	115	83	0.0	122	△ 39	△ 32.0
繰 入 金	357,000	355,887	59.1	339,027	16,860	5.0
繰 越 金	681	681	0.1	603	78	12.9
諸 収 入	6,186	5,955	1.0	7,986	△ 2,031	△ 25.4
国 庫 支 出 金	0	0	0.0	209	△ 209	皆減
歳 入 合 計	611,581	602,675	100.0	574,950	27,725	4.8

【歳出】

（単位：千円、%）

区 分	平成22年度 予算現額	平成22年度 決 算 額	決算額 構成比	平成21年度 決 算 額	対前年度 決 算 額 増 減 額	対前年度 決 算 額 増 減 率
総 務 費	40,756	40,449	6.7	38,675	1,774	4.6
納 付 金	569,041	561,464	93.3	535,426	26,038	4.9
諸 支 出 金	284	66	0.0	168	△ 102	△ 60.7
予 備 費	1,500	0	0.0	0	0	0.0
歳 出 合 計	611,581	601,979	100.0	574,269	27,710	4.8

【歳入歳出差引等】

（単位：千円、%）

区 分	平成22年度決算額	平成21年度決算額	対前年度増減額	対前年度増減率
歳入歳出差引額	696	681	15	2.2
翌年度へ繰り越すべき財源	0	0	0	0.0
実 質 収 支 額	696	681	15	2.2

10 平成22年度水道事業会計決算の概要

平成22年度水道事業概況について報告いたします。

給水件数は、前年度14,303件から263件増の14,566件、給水人口は、38,346人から183人増の38,529人となりました。

年間総配水量は、4,453,671m³で前年度より107,231m³増加し、また普及率は、前年度より0.5ポイント増えて81.1%になりました。

収益的収支は、水道事業収益978,079千円に対し水道事業費用859,315千円となり、98,459千円の純利益となりました。事業収益中の主なものは、給水収益940,388千円で全体の96.1%を占めています。事業費用で主なものは、受水費358,459千円です。

次に資本的収支ですが、資本的収入59,920千円に対し資本的支出は403,743千円となり、支出の主なるものは、設計委託料69,752千円、工事請負費214,332千円、企業債償還金83,282千円です。

収入・支出等の状況

【収益的収入及び支出】※収益的収入・支出…営業活動などの損益取引に基づくもの

(単位：千円、%)

	区 分	平成22年度 予 算 額	平成22年度 決 算 額	平成21年度 決 算 額	対前年度 決 算 額 増 減 額	対前年度 決 算 額 増 減 率
収 入	水道事業収益	935,329	978,079	940,777	37,302	4.0
支 出	水道事業費用	935,329	859,315	808,091	51,224	6.3

※ 消費税・地方消費税を含んだ金額です。

※ 収入支出差引額と純利益（損益計算書により算出）とは一致しません。

【資本的収入及び支出】※資本的収入・支出…施設整備に関する取引

(単位：千円、%)

	区 分	平成22年度 予 算 額	平成22年度 決 算 額	平成21年度 決 算 額	対前年度 決 算 額 増 減 額	対前年度 決 算 額 増 減 率
収 入	資本的収入	92,830	59,920	208,645	△ 148,725	△ 71.3
支 出	資本的支出	485,609	403,743	371,721	32,022	8.6

※ 消費税・地方消費税を含んだ金額です。

※ 資本的収入額が資本的支出額に不足する額 343,823千円は、過年度損益勘定留保資金 200,000千円、当年度分消費税資本的収支調整額 13,802千円、減債積立金 83,282千円、建設改良積立金 46,739千円で補てんした。

【業務量】

	平成22年度末	平成21年度末	増 減
給水件数	14,566件	14,303件	263件

	平成22年度末	平成21年度末	増 減
給水人口	38,529人	38,346人	183人

	平成22年度	平成21年度	増 減
年間総配水量	4,453,671m ³	4,346,440m ³	107,231m ³
一日平均配水量	12,202m ³	11,908m ³	294m ³

平成22年度阿見町水道事業損益計算書

(平成22年 4月 1日から平成23年 3月31日まで)

(単位:円)

1 営業収益			
(1) 給水収益	895,665,518		
(2) 受託工事収益	1,497,600		
(3) その他営業収益	701,045	897,864,163	
2 営業費用			
(1) 受水費	341,389,755		
(2) 原水及び浄水費	20,114,133		
(3) 配水及び給水費	89,978,231		
(4) 受託工事費	86,500		
(5) 総係費	111,939,967		
(6) 減価償却費	201,518,782		
(7) 資産減耗費	2,881,905	767,909,273	
営業利益			129,954,890
3 営業外収益			
(1) 受取利息	302,465		
(2) 他会計負担金	29,663,739		
(3) 雑収益	2,585,313	32,551,517	
4 営業外費用			
(1) 支払利息	15,275,481		
(2) 雑支出	167,720	15,443,201	17,108,316
経常利益			147,063,206
5 特別利益			
(1) 固定資産売却益	1,343,048	1,343,048	
6 特別損失			
(1) 過年度損益修正損	47,703,397		
(2) その他特別損失	2,244,214	49,947,611	△48,604,563
当年度純利益			98,458,643
前年度繰越利益剰余金			96,339
当年度未処分利益剰余金			98,554,982

1 1 町民の町税負担状況

区 分	平成22年度歳入 決算額 (千円)	一人当たり(円)	一世帯当たり(円)
町民税	3,380,594	70,609	187,457
個人	2,402,195	50,173	133,204
法人	978,399	20,435	54,253
固定資産税	3,343,384	69,831	185,393
軽自動車税	76,818	1,604	4,260
町たばこ税	302,451	6,317	16,771
都市計画税	437,751	9,143	24,274
町 税 計	7,540,998	157,504	418,154

※平成23年4月1日 人 口 47,878人
現在常住人口調査 世帯数 18,034世帯

1 2 町債（借入金）の現在高

(単位：千円)

区 分	平成21年度末 現在高	平成22年度中 借入額	平成22年度中 償還額	平成22年度末 現在高
一般会計	10,852,245	1,405,900	1,409,895	10,848,250
特別会計	11,523,751	152,300	846,906	10,829,145
公共下水道事業特別会計	8,657,713	66,600	501,151	8,223,162
土地区画整理事業特別会計	1,750,300	0	319,390	1,430,910
農業集落排水事業特別会計	1,115,738	85,700	26,365	1,175,073
公営企業会計（水道事業会計）	825,148	0	83,282	741,866

1 3 基金の現在高

(単位：千円)

区 分	平成21年度末 現在高	平成22年度中 取崩額	平成22年度中 積立額	平成22年度末 現在高
財政調整基金	1,092,300		570,100	1,662,400
公共公益施設整備基金	593,600		100	593,700
減債基金	373,100			373,100
ふるさと創生基金	4,673			4,673
借地取得基金	888,147			888,147
地域振興基金	203			203
地域福祉基金	295,000			295,000
公民館整備基金	47,500		100	47,600
下村千秋文学記念基金	3,183			3,183
町営住宅建替基金	204,200		200	204,400
農山漁村ふるさと事業基金	850			850
みどりの基金	24,400	452	52	24,000
予科練平和記念館整備管理基金	59,117		2,750	61,867
学校施設耐震化基金	100,000			100,000
収入印紙等購買基金	2,000		1,000	3,000
小 計	3,688,273	452	574,302	4,262,123
国民健康保険支払準備基金	130,000			130,000
公共下水道整備基金	100			100
農業集落排水事業債減債基金	33,884	10,734	31,058	54,208
介護給付費準備基金	57,990	915		57,075
介護従事者処遇改善臨時特例基金	12,283	6,185		6,098
合 計	3,922,530	18,286	605,360	4,509,604

(単位：千円)

		平成21年度末 現在高	平成22年度中 引渡又は取崩額	平成22年度中 取得又は積立額	平成22年度末 現在高
土地開発基金	現金	3,600	0	0	3,600
	土地	48,669.93㎡	0.00㎡	0.00㎡	48,669.93㎡